

2. 修正の理由

当中間期の売上高は、採算性を重視して、サービス事業の拡販に注力したことにより物品販売が減少し、期初計画を下回る見通しとなりました。

経常利益につきましては、売上減の影響はあるものの、サービス事業の比率が高まったことに加え、継続的に取り組んでいる費用低減活動の効果により、期初計画を上回る見通しとなりました。

なお、通期の業績見通しに関しましては、現在見直しを行っており、中間決算発表時に公表させていただきます。

以 上

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因により、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があります。